

東証スタンダード市場（証券コード 6848）

個人投資家さま向け 会社説明

東亜ディーケーケー株式会社
代表取締役社長 高橋 俊夫

2024年11月

I) 会社概要

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 基本情報 | 4. 私たちの生活と計測機器 |
| 2. 社名の由来 | 5. 当社の計測機器事業 |
| 3. 計測機器はどこにある？ | 6. 拠点・グループ企業 |

II) 当社の強み

- | | |
|----------|--------------------|
| 7. 市場動向 | 10. ビジネスモデル |
| 8. 市場シェア | 11. 重点市場 |
| 9. 当社の強み | 12. サステナビリティへの取り組み |

III) 2024年度計画等

- | | |
|----------------|---------------|
| 13. 2024年度業績予想 | 15. 株主還元 |
| 14. 2024年度計画 | 16. 証券コードの覚え方 |

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

I) 会社概要

II) 当社の強み

III) 2024年度計画等

1. 基本情報

経営理念

『誠実・創造・挑戦』をモットーに
地球環境保全と豊かで人にやさしい
社会環境の実現に貢献します。

設立

1944年9月

資本金

18億4,248万1千円

売上高

連結174億円 (2023年度)

従業員数

連結612名 (2024年9月末現在)

事業内容

計測機器事業および
不動産賃貸事業

- ・計測機器・医療関連機器の製造、販売
- ・計測機器の部品・消耗品の販売
- ・計測機器のメンテナンス・修理
- ・不動産賃貸事業

ISO認証

ISO14001
ISO9001
ISO13485

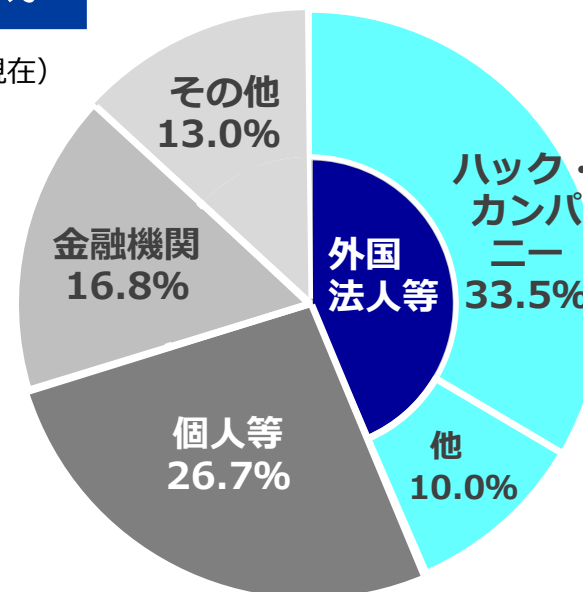
連結子会社

国内4社

- ・山形東亜DKK(株)
- ・岩手東亜DKK(株)
- ・バイオニクス機器(株)
- ・東亜DKKサービス(株)

株主構成

(2024年9月末現在)



2. 社名の由来

2000年

東亜電波工業と電気化学計器が合併し
東亜ディーケーケー 誕生

英文社名：DKK-TOA Corporation



TOA

東亜電波工業

- 1954年
卓上型pH計 HM-5(A)が
2014年「分析機器・
科学機器遺産」に認定



- 1979年
臨床検査機器
(医療分野に
参入)



DKK

電気化学計器
(DKK)

- 1970年
日本初の大気中
オキシダント計



- 1970年
日本初の河川
水質監視装置
(淀川と多摩川
に設置)



TOA DKK

2005年 米国ハック・カンパニー
(HACH) と業務・資本
提携

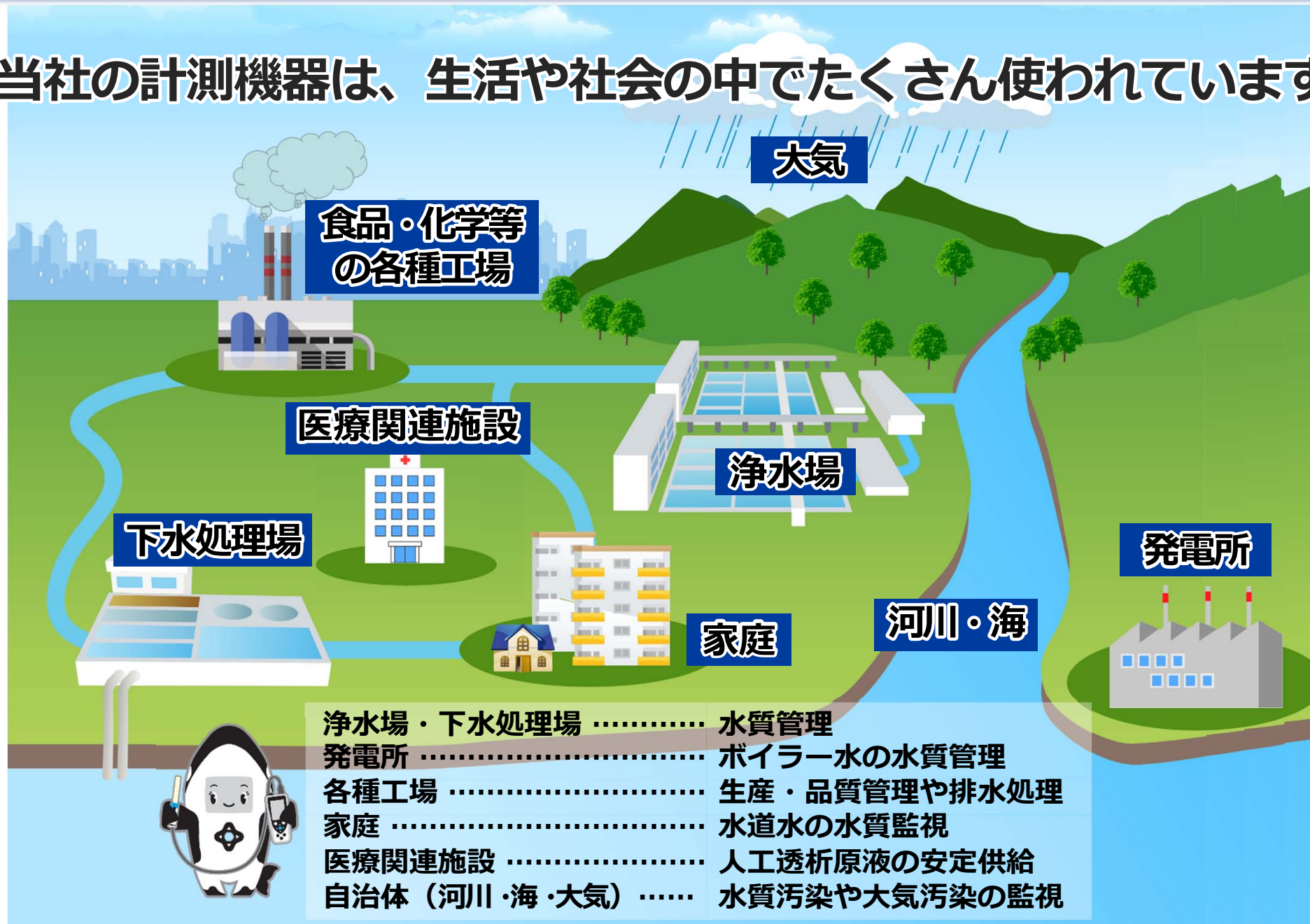


2013年 東証第一部上場

2024年 創立80周年

3. 計測機器はどこにある？

当社の計測機器は、生活や社会の中でたくさん使われています



4. 私たちの生活と計測機器

水道水はいつも
安全安心



水道水用水質
自動測定装置
(停電時72時間対応)



公園など家庭の
近くに設置され
7項目連続測定

インフラ

ラボ用
水質計



食品・飲料工場で
pHなどを測定して
品質や味を管理

今日もビールが
うまい!



各種工場

安心して魚を
食べられるね!



全窒素・全りん/
COD自動
測定器



油膜
検知器



下水処理場や工場で
排水を常時監視

海・河川

大気

PM2.5
測定装置



洗濯物を外に
干せるかな?



大気観測局でPM2.5など
大気汚染物質を測定

5. 当社の計測機器

「水・大気・医療・ガス」分野の計測機器メーカー

水	大気	医療	ガス
環境・プロセス分析機器  水道水用水質自動測定装置  pH計  電気伝導率計  油膜検知器  全窒素全りん計	 PM2.5測定装置 国内シェアNO.1  大気SO₂SPM測定装置	医療関連機器  透析用薬剤溶解装置  エンドトキシン計	産業用ガス検知警報器  ケミルミアルシン計

科学分析機器

ラボ用水質計



ポータブル用水質計



当社の事業と関係性の深いSDGs

6 安全な水とトイレを世界中に



安全で美味しい水道水の監視

14 海の豊かさを守ろう



水質汚染の監視
(排水モニタリング)

11 住み続けられるまちづくりを



大気汚染の監視

全国でキメの細かい販売とサービス

営業拠点：10か所

代理店・特約店：78社（拠点：207か所）

連結グループ会社：4社

- 本社
- 営業拠点
- 事業所
- ▲ 連結子会社



I) 会社概要

II) 当社の強み

III) 2024年度計画等

7. 市場動向①電気計測機器市場

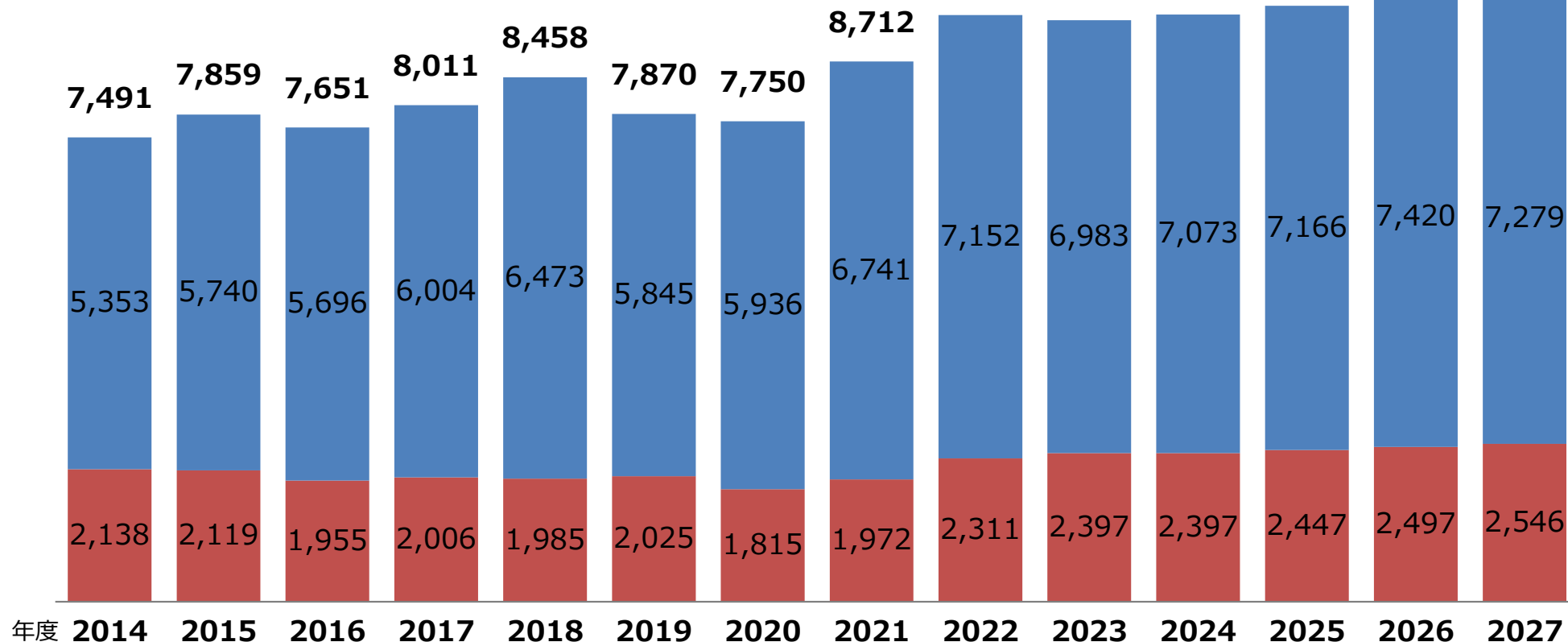
(単位:億円)

「産業のマザーツール」として堅調に成長

電気計測器の需要見通し

■ 海外拠点売上
■ 国内+輸出

コロナ禍ダメージ小 年平均成長率+1.0%予想



(引用) (一社) 日本電気計測器工業会「電気計測器の中期見通し 2023~2027年度」

※2023年度以降は見通し

無限に広がる計測対象

アジアの
環境改善
対策

世界の
水不足問題

グリーン
エネルギー
の普及

アジアの
透析患者
増加

国内労働
人口減少で
無人化・
省力化

環境の
法的規制
の強化

農業/
養殖/酪農
のIT化

予防医療
の進化

計測技術は現代社会の生活・産業において欠かせないインフラで
社会環境の変化で市場は日々拡大しています

8. 市場シェア①水・大気分野

pH計やPM2.5測定装置で国内トップシェア

水



- ・ P H計
- ・ 濁度計
- ・ 残留塩素計
- ・ 電気伝導率計
- など

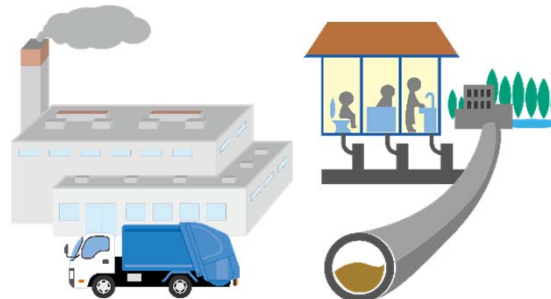
シェアの高い市場

浄水場

下水処理場、清掃工場、
各種工場



上水処理



下水・排水処理/
環境水質監視

大気

P M2.5
測定装置



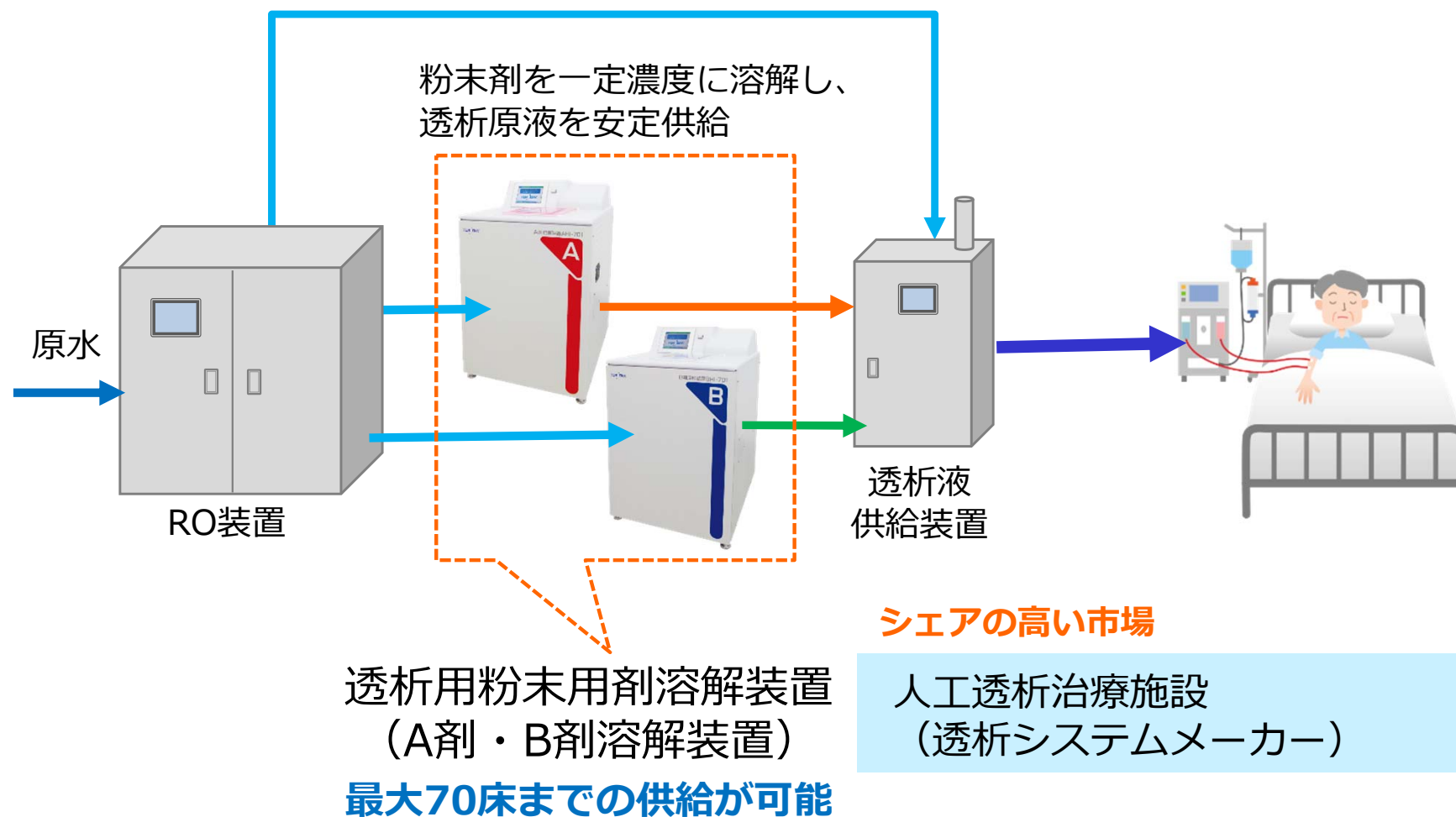
環境省や自治体の
大気汚染測定局



環境大気監視

データ元：環境省の大気汚染物質広域監視
システム「そらまめ君」

透析治療施設向けに国内トップクラスのシェア



3つの強み

pH計、電気伝導率計などの創立以来蓄積された技術

- 長年培ったセンサーのコア技術
- 部材・部品の最適な組み合わせ
- 幅広い用途に対応

石油精製プラントなどで使われる、火災防止のための耐圧防爆型の油膜検知器



公的機関はじめ、幅広い業種の企業とお取引

● 官公庁

浄水場、下水・し尿処理場、清掃工場、全国の大気測定局

● 民間企業のあらゆる工場がお客さま

発電所、半導体工場、石油・化学工場、製鉄工場、製紙工場、食品・飲料工場、自動車工場、家電工場などのほか、プラント（装置）メーカーや重電メーカー

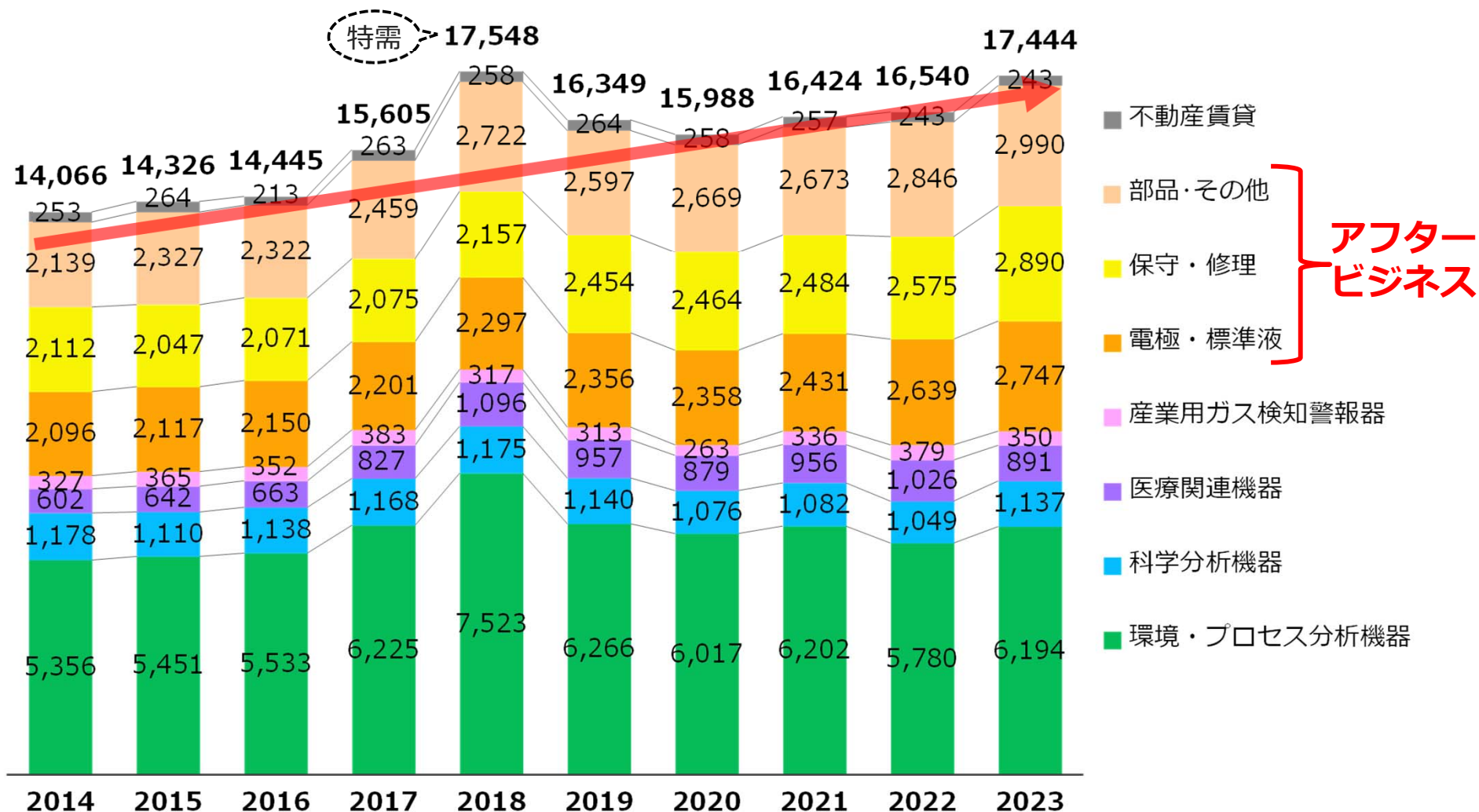
開発・製造・販売からアフターサービス（保守・修理）までの一貫体制



10. ビジネスモデル（分野別売上高）

機器販売とアフターサービスの両輪で 安定した業績を堅持

（単位：百万円）



世界的な環境保全強化に伴い 44か国に販売

(2023年度実績)

海外代理店は18か国44社

中東

海水淡水化プラ
ントや発電所の
水質管理



インド

大気測定局での
大気汚染の監視



中国

環境規制強化
に伴う工場排水
モニタリング



韓国

水道水の
水質測定



台湾

半導体工場
の水処理



東南アジア

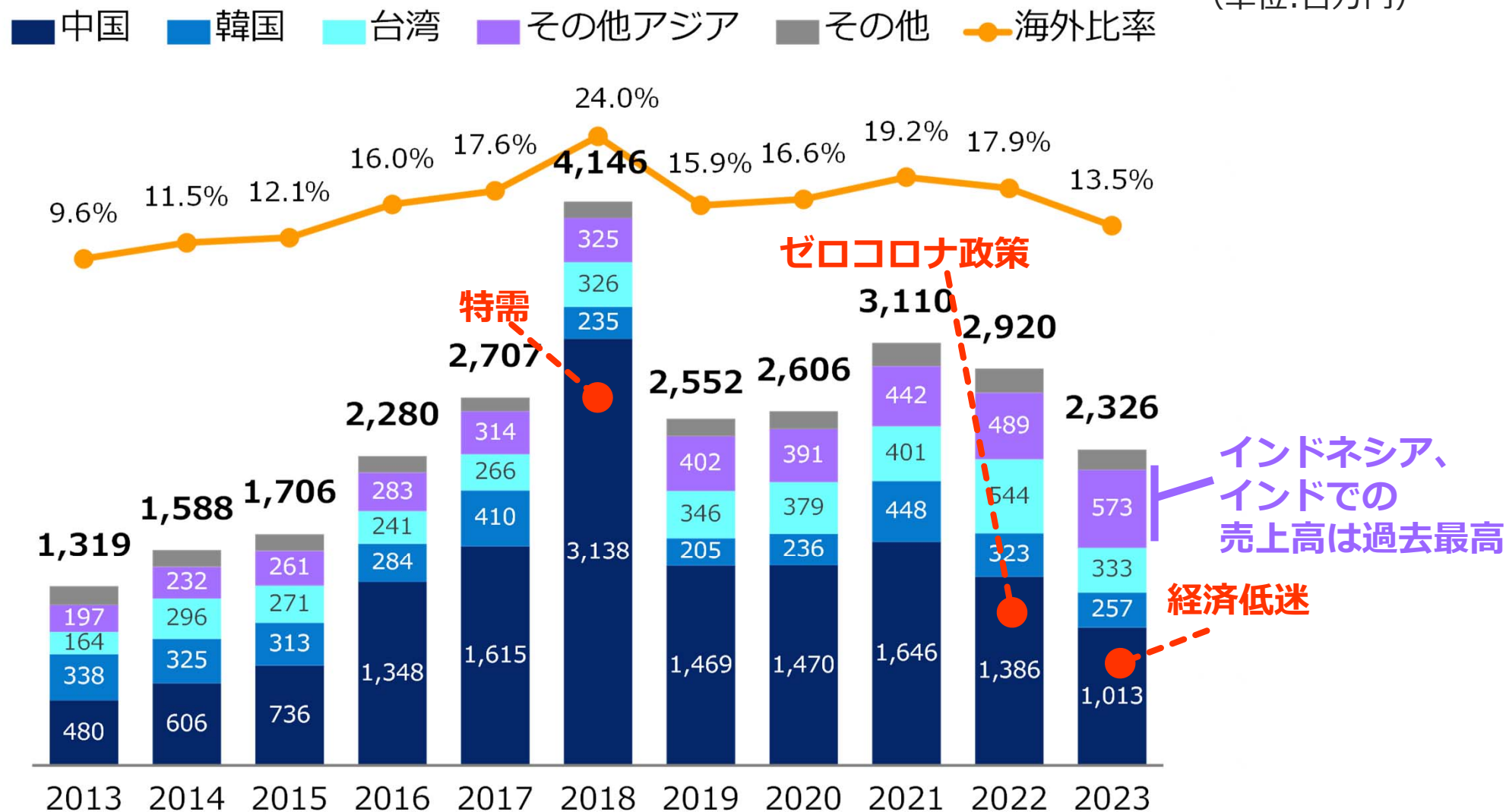
環境規制強化
に伴う排水
モニタリング



11. 重点市場①海外-2（海外売上高）

東南アジア・インドに注力し、海外売上増へ

(単位:百万円)



11. 重点市場②水道事業

水使用量の減少
設備の老朽化
職員の高齢化

小規模の
水道事業体
の運営困難

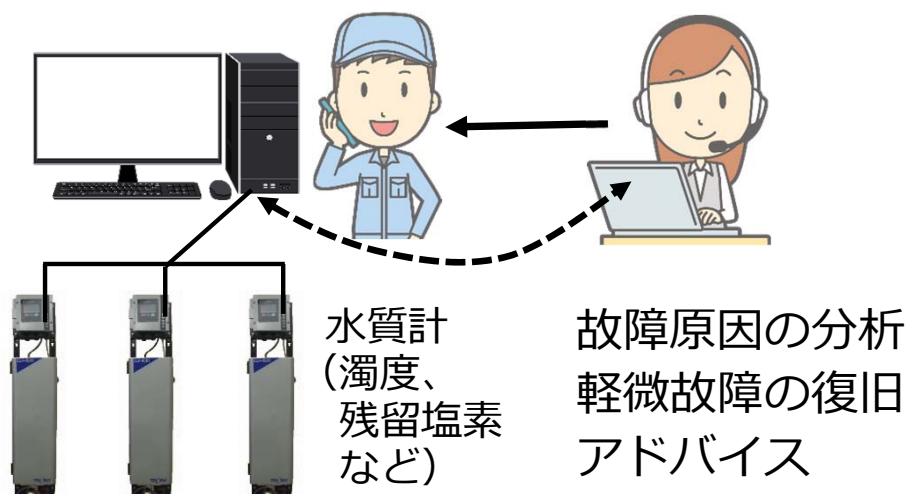
広域化
民間委託化
省人化・効率化

デジタル通信対応

IoTで遠隔監視、リモート
メンテナンスが可能な水質計

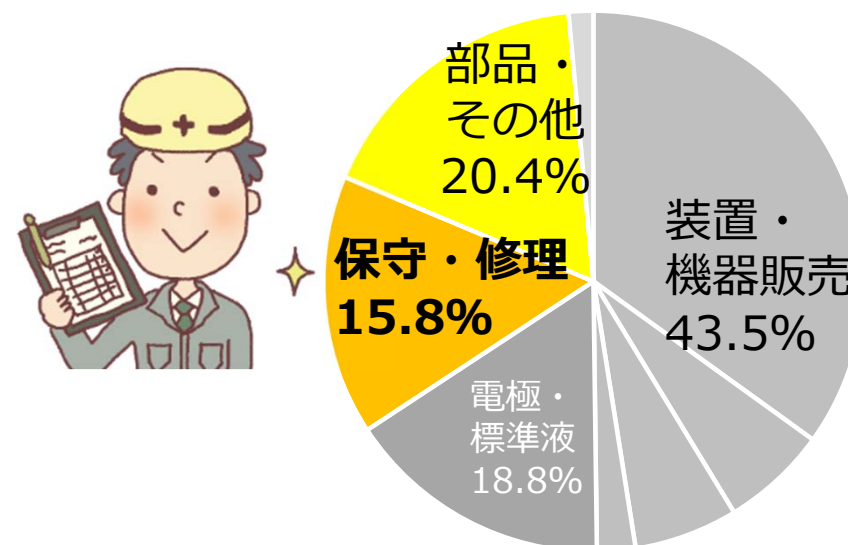
浄水場

サービス会社



アフタービジネス拡大

全国の直系サービス会社による
定期点検や長期保守



水質監視システムが 高効率の発電所稼働を支える



火力発電



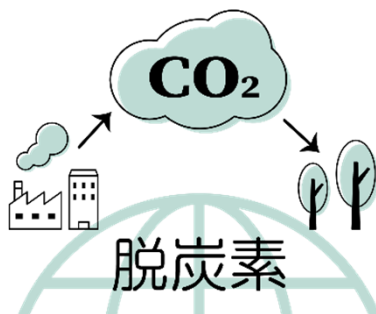
バイオマス発電



水質サンプリングシステム

脱炭素化の新たな技術で さらに分析計が必要となる

アンモニアや水素を
燃料とした火力発電、
CO₂地中貯留（CCS）
など



防爆エリア対応
各種水質分析計



アンモニア
ガス検知器



ABB社製
プロセスガス
クロマトグラフ

12. サステナビリティへの取り組み



サステナビリティ
レポートを発行

CSR

エコバディス社の サステナビリティ調査で ブロンズ評価



- ☒ 環境
- ☒ 労働慣行と人権
- ☒ 倫理
- ☒ 持続可能な資材調達

変革

経済産業省が定める 「DX認定事業者」に認定



I) 会社概要

II) 当社の強み

III) 2024年度計画等

13 . 2024年度業績予想

✓ 中国経済停滞で、中計目標を修正も過去最高の売上高へ

✓ 新生産棟、DX、人的資本への投資により減益

狭山インテグレーションセンター
(2024年6月竣工)



(単位:百万円)	2023年度 実績	2024年度		前期比増減	
		中計目標	予想	金額	率
売上高	17,444	18,850	18,000	555	+3.2%
営業利益 売上高比	1,768 10.1%	1,900 10.1%	1,540 8.6%	△228	△12.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	1,292 7.4%	-	1,170 6.5%	△122	△9.5%



2025年度～
(次期中期経営計画)

連結売上高200億円体制へ

国内

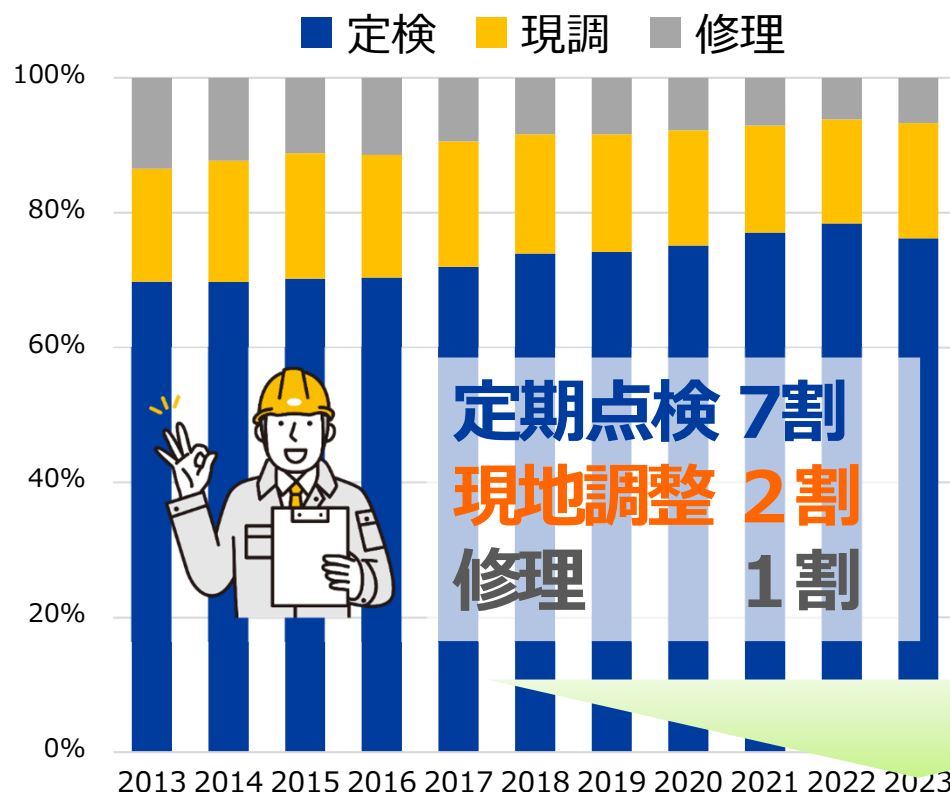
- ・ 堅調な需要の獲得
(半導体関連、公共インフラ)
- ・ 新市場の開拓
(エネルギー関連、陸上養殖など)



分野	用途	計測器の例
半導体製造設備	- 原水・回収水管理用	濁度計、残留塩素計、プロセス自動測定装置
	- 純水製造管理用	抵抗率計、電気伝導率計、溶存酸素計
	- 排水監視・管理用	COD計、pH・ORP計、フッ化物イオン計
エネルギー（脱炭素技術） 水素製造プラント・水素発電、 アンモニア発電、 バイオマス発電	- CO ₂ 分離・回収 - ガス分析 - 排水処理・総量規制管理 - アンモニア測定 - ボイラー水の水質管理	pH計、電気伝導率計、 COD計、ガス分析装置、 ボイラーサンプリング装置

国内 アフタービジネスの拡大

サービスマンの出張工数割合推移



定期点検の増加



リプレイス案件
の確実な受注

国内売上高は過去最高を計画



東南アジア

- ・タイに拠点を開設
- ・ハック社と協働し
周辺国への販売強化

インド

- ・大気測定器の拡販
- ・水質計の販売強化
- ・販売網の拡充推進

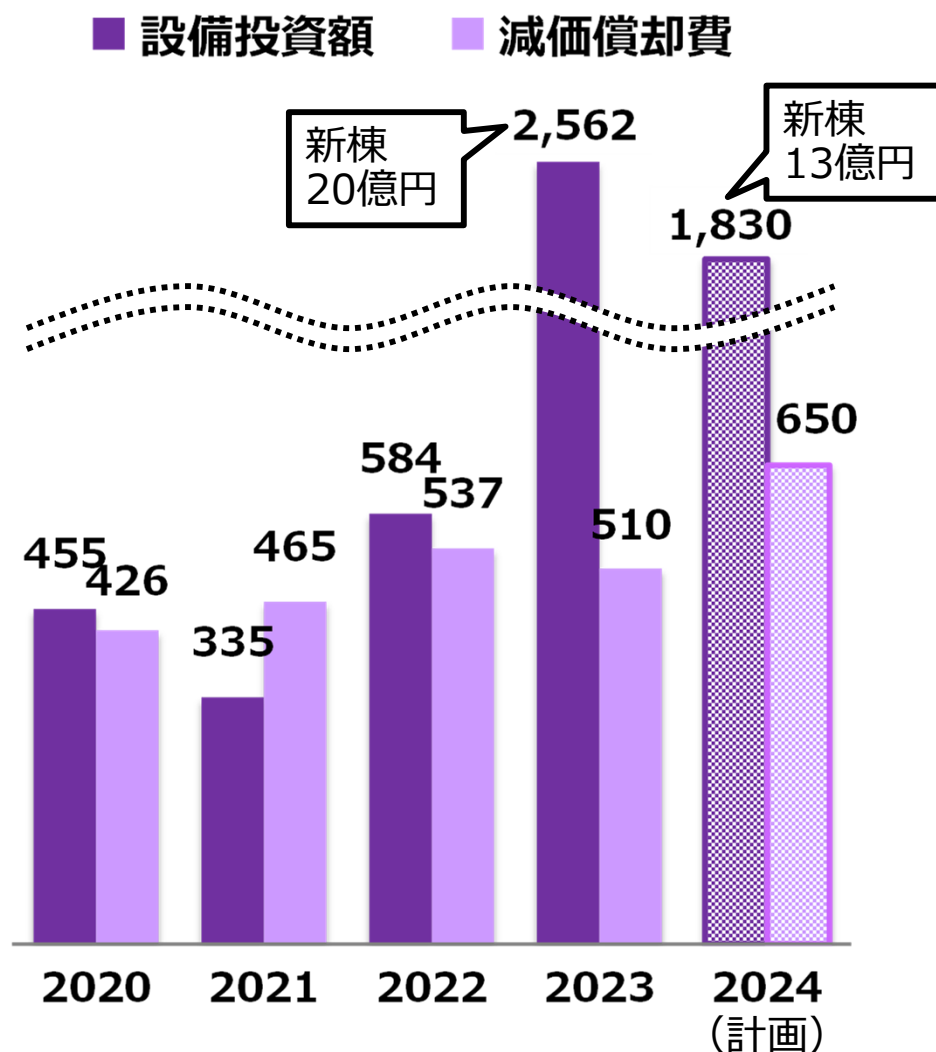
中国

- ・半導体関連向け拡販
- ・生化学分析計メーカー
へ血液中イオン分析計
の販売開始

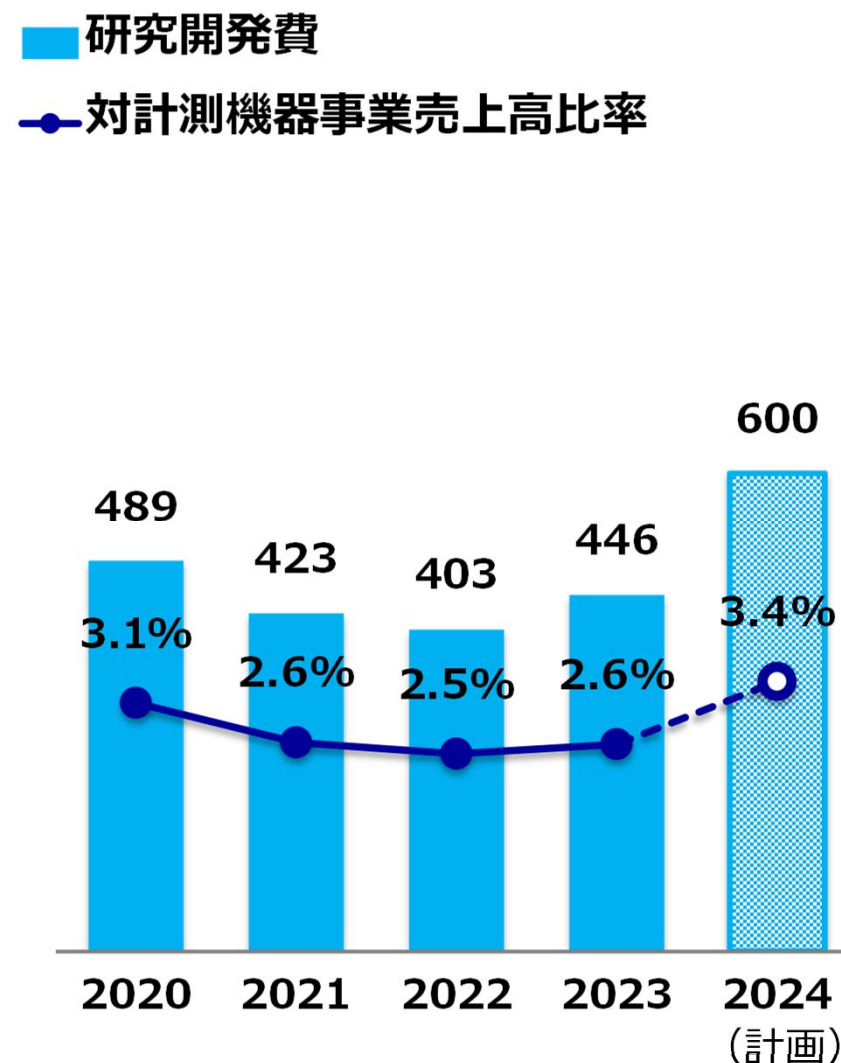
海外売上高の回復を図る

(単位:百万円)

設備投資・減価償却費

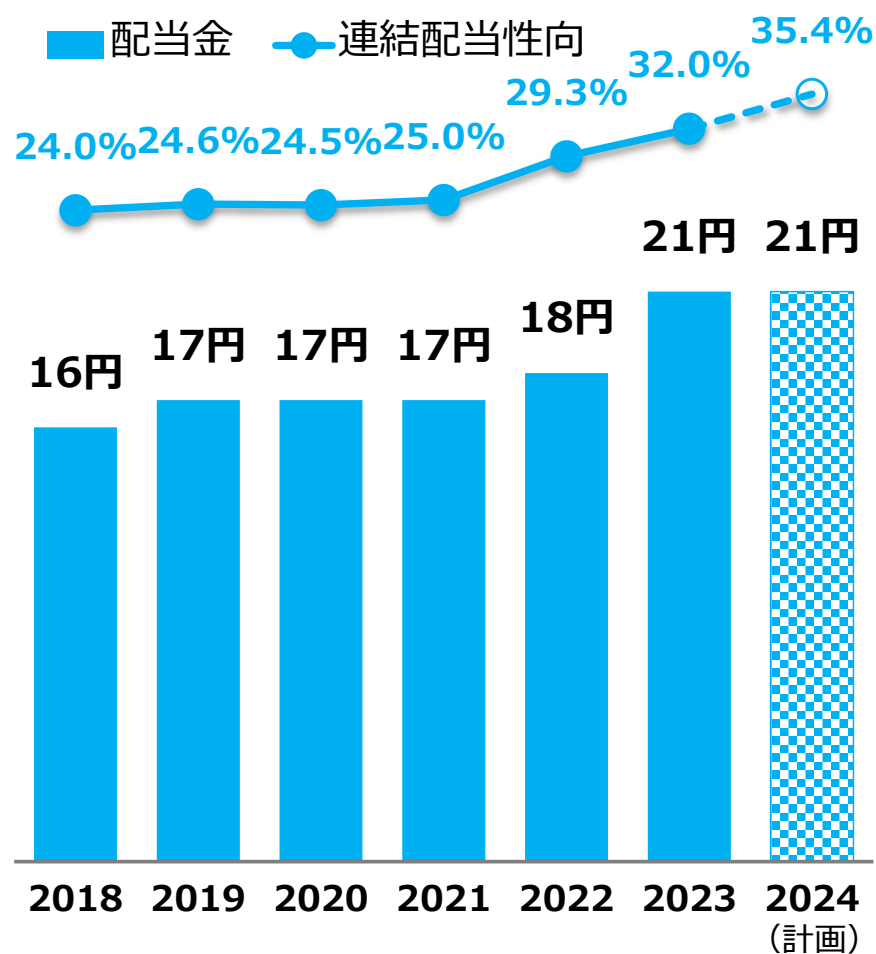


研究開発費



業績に応じ安定的な配当を継続

一株当たり配当金推移



株主優待

毎年9月末現在の株主名簿に記載された株主さまに「緑の募金」付クオ・カードを進呈



保有株式数	優待内容
100株以上300株未満	寄付金付クオ・カード500円分
300株以上1,000株未満	寄付金付クオ・カード2,000円分
1,000株以上	寄付金付クオ・カード5,000円分

証券コード

6 8 4 8

$$6 \times 8 = 48$$

ご視聴ありがとうございました

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部 経営企画課
メール：ir@toadkk.co.jp